

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2020 年度第6回理事会議事録

1. 開催日時 2021 年 3 月 22 日(月)

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 18 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 河宮 未知生
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 奥村 晃史
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 橘 省吾
理事 中村 昭子
理事 西 弘嗣
理事 成瀬 元
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント/ジャーナル編集委員	倉本 圭
大気水圏科学セクションプレジデント	谷口 真人
大気水圏科学セクションバイスプレジデント	佐藤 薫
大気水圏科学セクションバイスプレジデント	東塚 知己
地球人間圏科学セクションプレジデント	鈴木 康弘
固体地球科学セクションバイスプレジデント/プログラム委員長	片山 郁夫
地球生命科学セクションプレジデント	遠藤 一佳
学協会長会議議長	渡辺 俊樹
大会運営委員長	和田 浩二
ダイバーシティ推進委員会委員長	坂野井 和代
情報システム委員長	興野 純
教育検討委員会副委員長	市川 洋
事務局長	末廣 潔

午前 13 時 30 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣した。インターネット会議システム Zoom を利用し、参加者全員が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。一部の准会員 ID や AGU 会員のための ID の一部が整理されていないので、整理することを検討している。

第 2 号議案 新規委員承認の件

各委員会からの委員の追加案に基づき、委員就任を審議し、推薦通り承認した。

これは、女性比率の目標を達成していない委員会、セクションが多かったため、各委員長、セクションに改善の依頼をし、各委員会から女性委員の追加の推薦をいただいたものである。2つのセクションからもセクションボードへの女性の追加の報告があった。その結果、多くの委員会で女性比率の最低目標が達成され、全体としても比率が改善されている。まだ達成していない委員会も含め、引き続き男女比率の改善を行うことを委員会やセクションに依頼した。

第 3 号議案 2021 年連合大会開催形式の件

これまで連合 2021 年大会は3日間の現地開催+4日間のオンライン大会というハイブリッド形式で準備をしてきた。しかし、現在の新型コロナウイルス感染拡大の状況および現地会場参加希望者数を考え、現地開催は取りやめ、完全オンラインでの実施とすることを検討し、これを承認した。

第 4 号議案 連合大会インセンティブ資金取扱規則改訂の件

連合大会インセンティブ資金は取り崩しが終了したため、本規則は撤廃する。

第 5 号議案 特定資産取扱規則改訂の件

特定資産取扱規則の改訂を検討した。取り崩しが終了した連合大会インセンティブ資金に関する文言は削除し、新たな特定資産「オンライン開催システム高度化推進事業積立資金」および「連合大会開催時保育等運用積立資金」を追加する。

案のうち、現地開催が取りやめになったため、第 6 条 3 は「2021 年度に 5 万円を取り崩し目的の事業に充当する」と修正し、承認した。

第 6 号議案 2021 年度事業計画書および収支予算書承認の件

2021 年度事業計画書および収支予算書を審議した。資料の通り承認した。また、一般寄附および特定寄附の受け入れを審議した。資料の通り承認した。

第 7 号議案 第 4 回西田賞受賞者認定の件

第 4 回西田賞受賞候補者を審議した。審査委員会からの推薦の通り承認した。

第 8 号議案 その他(理数系学会教育問題連絡会規約に関して)

教育検討委員かから委員を選出している理数系学会教育問題連絡会で規約を明文化することになり、各学会での承認を求められていた。規約案を承認した。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

委員会やセクションのジェンダーバランスについて、引き続き改善を行うようあらためて依頼があった。

3月11日に声明「東日本大震災から10年：日本地球惑星科学連合の自然災害への取り組み」を発出したことについて報告があった。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

PEPS の投稿・編集・出版状況について、倉本圭委員から代理で報告があった。編集委員会の

開催報告があった。また、SPEPS の提案があり、採択を検討中である。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

グローバル戦略委員会の活動について報告があった。SNS を積極的に利用することを検討している。

4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

坂野井委員長より、従来大会期間中に開催していたキャリア相談会を大会期間以外に行う試みを、現在実施中である旨報告があった。

小口理事より、ユニオンセッション「U-11 多様性と平等-日欧米の地球惑星科学分野からの報告」の準備状況について報告があった。Equality Diversity Inclusion 推進のロゴに関する準備状況が報告された。今後、セッションのコンビナーに掲示の希望を問い合わせる。

5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

SDGs タスクフォースの活動報告があった。2月5日に第一回会議を行い、活発な意見交換を行った。今後、学術的なアクション、組織としてのコンプライアンス、また予算などについても検討を行う。

セクションの活動の活性化について提案があった。セクションの権限や活動範囲を再確認し、セクションの活動を活性化していくという案が示された。例えば、セクションごとの賞の創設、開発途上国の学会との連携、声明の発出、大会時のセクション総会の開催、などの例が挙げられた。前向きに検討を続けることとなった。

6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

展示について報告があった。現在のところ 28 件の有料の展示ブースを受け付けている。引き続き勧誘を行う。出展者向け説明会なども検討中である。また、出展者セミナーに加え、展示企画の活性化を見込めるような企画も検討している。今回もクイズラリーを実施する予定であるので、理事会出席者の皆様にも景品の提供の協力をいただきたいという依頼があった。

7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

後援したイベントおよび発出したサポートレターについて報告があった。また、メールにて審議した「40周年記念事業特定費用準備資金への積み立てについて」について報告があった。

事業報告の作成状況について報告があった。

掛川理事より、著作権ワーキンググループを立ち上げ、第一回会議を行った旨報告があった。2022年大会準備に間に合うようなスケジュールで検討を行う予定である。

8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

2020 年決算の予想について報告があった。

9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

和田委員長より大会準備報告があった。本理事会での決定を受け、今後は完全オンライン形式での準備を行う。

今後のスケジュール、参加登録の流れ、ポスター発表準備方法、セッションのコマ割りの進捗、発表資料の種類(e-poster、オンデマンド動画、追加資料)等について報告があった。

学生優秀発表賞は口頭発表およびオンラインポスター発表について審査する。ポスター発表の審査では、Zoom のブレイクアウトルームを利用する。(ポスター発表用の資料とブレイクアウトルーム用の資料の準備が必要となる)

現段階ではイベント企画として JAXA-NASA イベント、ランチタイムスペシャルレクチャー、表彰式+講演会、キャリアブースを準備している。この他に、休憩スペースの設置を検討している。

2020 年大会の反省としてポスター発表の満足度が十分ではなかったということが指摘された。「いいね」ボタンが設置される他、コンビーナへもコメントの依頼を行うなどの改善点が説明された。

Confit の英語対応について質問があり、日英どちらにも対応しているとの説明があった。

毎日、その日のハイライトやイベント等が案内できるような仕組みがあるとよいという意見があった。あらかじめ準備をしておけば、当日配信が可能と考えられるので検討することになった。

ポスター発表のページビュー数が見られるとよいという意見があった。

オーラルセッションのページから、そのセッションのポスター発表のページへのリンクがあるとよいという意見があった。

参加者をふやすため、広報委員会と大会運営委員会、事務局が連携して、事前に効果的に宣伝していくこととなった。

回線の確保について質問があり、千葉工業大学スカイツリーキャンパスを利用すれば確保が可能であるという回答があった。

10. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

非営利団体向けに Google Workplace を無料で提供しているサービスがあるので、JpGU として契約できるかどうかを調査している旨、報告があった。

EBSCO 社から JpGU の予稿を収容しデータベース化したいという打診があり、対応を検討している。しかし予稿は学術情報としてしかるべき機関に登録するべきという意見が多く、DOI の付与なども併せて検討している。

11. 教育検討委員会活動報告(阿部担当理事)

教育検討委員会の活動報告があった。

1)2020 年大会でのセッション O-04「GIGA スクールと地球惑星科学教育:オンライン授業からの示唆」U-14「変動する地球に生きるための素養を育む地球教育の現状と課題」の準備状況、2)

全国地学教育関係者オンライン情報交換会の実施、3)国際科学(地学・地理)オリンピックの準備状況、4)アース・サイエンス・ウィーク・ジャパン 2021 年の準備状況、5)日本学術会議地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会、6)教員免許状更新講習事業、7)理数系学会教育問題連絡会の活動について報告があった。

12. 広報普及委員会活動報告(橘担当理事)

広報普及委員会の活動報告があった。連合大会に向けて、大会運営委員会と連携して宣伝活動を強化することを検討している。ハイライト講演の選び方の改善などメディア対応を予定している。次号 JGL 発行を準備している。グローバル戦略委員会とも連携して SNS 発信を行うことを検討している。ロゴマークの利用規定が明確になっていなかったため、検討する。

13. 環境災害対応委員会報告(奥村理事)

防災学術連携体の法人化および JpGU の入会について報告があった。前回の理事会で定款について意見が寄せられたが、連携体幹事に伝えたところ定款を大幅に変えることはできないとの返答があった。

14. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

顕彰委員会の活動報告があった。昨年は授賞式を行っていないので、今回昨年の分も併せて開催することを検討している。

2020 年 3 月 22 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第6回理事会

出席理事	田近	英一	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	河宮	未知生	印

出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	橘	省吾	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	吉田	尚弘	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	春山	成子	印